

ふれあいひろば Vol.44

編集・徳島県教育委員会教育総務課 TEL.088-621-3159 FAX.088-621-2879

NEW!

キッズ&ジュニアわんぱくランクイング

徳島県教育委員会では、インターネット上のランキングシステムを活用することにより、徳島県の小・中学生の運動習慣の確立や体力の向上を図ることを目的として「キッズ&ジュニアわんぱくランキング」を実施してきました。そしてこの度、さらに子どもが運動に親しみ、楽しさを実感しながら体力向上に取り組むことができるよう、ランキング種目を増やして「NEWキッズ&ジュニアわんぱくランキング」を新しくスタートしました。



ランキング種目が
増えたよ!!



★ランキング種目★

- 8の字ジャンプ
- みんなでジャンプ
- マラソンリレー(2種目)
- 短なわとび(5種目)
- バスケットボールフリースロー
- ジグザグドリブル(2種目)
- ターゲットスロー
- 折り返しリレー
- 一輪車リレー
- みんなで馬跳び

徳島県の小・中学生のみんな!

楽しく運動し、いろんな記録に挑戦してみよう!
金メダルは君のものだ!!

スタート!



小学生から中学生まで参加できます!

友だちを誘いあって記録に挑戦してみましょう!

多くのみなさんが参加するのを待っています!!

家庭からでも参加の申し込みや
記録の登録が手軽にできます!!
◆登録手続きの流れ◆
●参加の申し込み→●参加完了メールが届く→●記録の登録
→●学校・管理者の承認→●ランキング結果公表
※登録の仕方は、ホームページの「参加登録の仕方」をご覧ください。



さあ!「NEW!キッズ&ジュニアわんぱくランキング」にアクセス!!

<https://www3.tokushima-ed.jp/kidswanpaku/index.html>

ファミリーチャレンジ 四国歩き遍路

「四国歩き遍路」ができました!!



「NEW!キッズ&ジュニアわんぱくランキング」の中に歩数計を活用した種目として、ファミリーチャレンジ「四国歩き遍路」をつくりました。「NEW!キッズ&ジュニアわんぱくランキング」のトップページからファミリーチャレンジ「四国歩き遍路」をクリックするとアクセスできます。

歩数計を活用して家族と一緒に参加できます。徳島県教育委員会としても徒歩通学を奨励しており、登下校にも利用できます。



- ポイントを通過すると、みんなで楽しめるスポーツキャラクターのカードが出てきます。
- 一度登録すると、卒業まで再登録の必要はありません。

私たちのふるさと「四国」には、昔から伝わる宝物がたくさん!
楽しく歩きながら、体力アップ!
家族と一緒に四国一周を目指そう!



保護者のみなさんも生活習慣病の予防や体力向上のため、子どもたちと一緒に気持ちのよい汗を流し家族で健康づくりに取り組んでみてください。

読書の生活化プロジェクトⅢ

-毎日10分以上、家で読書をしよう！-

実施期間 平成24年度～平成26年度



読書の生活化プロジェクトⅡ（平成20年～23年度）に引き続き、本年度から、読書の生活化プロジェクトⅢに取り組んでいます。実施ポイントは次のとおりです。

学校・園での実施ポイント①

- ▶ 每月23日は「家庭読書の日」とします
→その週を家庭読書推進週間に位置づけ
- ▶ 推進週間に、家庭読書につながる取組を実施します
→読み聞かせ、朝の一斉読書、ブックトークなどの取組
- ▶ 学校図書館（学級文庫）の本を持ち帰りましょう
→家に本のある環境づくり

学校・園での実施ポイント②

優秀実践校、園を表彰

※4月23日「子ども読書の日」

年間2回の調査・報告（10月、3月）

調査項目1 学校図書館の貸出冊数 ※学級文庫、公立図書館を含む

調査項目2 家庭での平均読書時間 ※新聞を含む

調査項目3 特色ある取組内容



家庭読書の習慣化

各園・各学校での特色ある読書推進活動の例を紹介します

《活動の分類》 ①家庭保護者の啓発 ②図書館の活用 ③地域との連携
④学校（園）内行事 ⑤環境整備

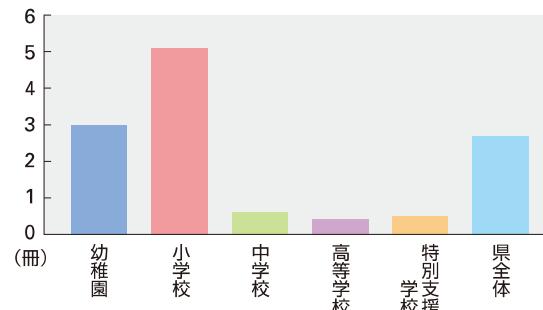
園・校種	活動の分類	取組内容				
		①	②	③	④	⑤
幼稚園	①	2週間に1回、家庭へ絵本の貸し出しを行っている。また一人一人に絵本ノートを作って保護者が絵本の感想などを記入したり、教師もそれについて感想を書いている。				
	③	保護者による毎週金曜日に読み聞かせの時間を確保している。				
	⑤	市の図書館から毎月5冊の本、紙芝居などを持ってきてもらいや活用している。				
小学校	②	図書委員会による秋の読書祭りを計画し実施している。学期ごとに、学年で読書達成目標冊数を決め、達成した児童は図書委員会が表彰し、読書の啓発を行っている。				
	④	各学年の「おすすめの図書100冊」を選定し、多読者の表彰を行っている。				
	④	図書委員会が、読書集会で大型絵本の読み聞かせなどを行ったり、週1回、低学年の読み聞かせをし、読書の啓発を行っている。				
中学校	②	全校生徒が夏休みに読んだ本とその紹介をB5用紙一枚にまとめて、それをまとめて模造紙に貼り、図書室に掲示している。				
	②	図書委員会が毎月1回好きな本や感動した本などを全校集会を通じて紹介している。				
	④	毎月読書冊数調査を実施し、結果を職員室前の一覧表に記入するとともに掲示している。学期ごとに集計し、各学年で読書量の多い生徒を表彰している。				
高等学校	②	毎2年生の総合学習で課題研究を行っている。全員が学問分野ごとの研究班を組織し、自ら実現した学問的課題に挑む。その際、インターネットなど手軽に集められる資料だけに依存しないよう、新書等の書籍の活用を呼び掛けている。				
	③	地域に根ざした学校づくりを進めるために、地域のみなさんに図書館を開設している。資料の閲覧、図書の貸出をしている。				
	⑤	保護者に対し推薦図書のアンケートを実施し、それを基にブックリストを作成し、図書館に推薦するコードを設置している。				
特別支援学校	②	徳島県立図書館の協力貸出制度を利用している。				
	④	毎月ライブラリーニュースを発行し、HPへの掲載を行い、新刊図書の案内等をしている。				
	④	年1回保護者や教職員、児童生徒による推薦本リストを作成している。				

第1回調査集計(本年度4月～9月)の結果について

本年度上半期の結果です。学校図書館活動等を活性化し、子どもたちの家庭での読書につながる取組を更に充実させてていきましょう。

■学校図書館の貸出冊数合計 1,388,004 冊

①一人当たりの月間平均貸出冊数について

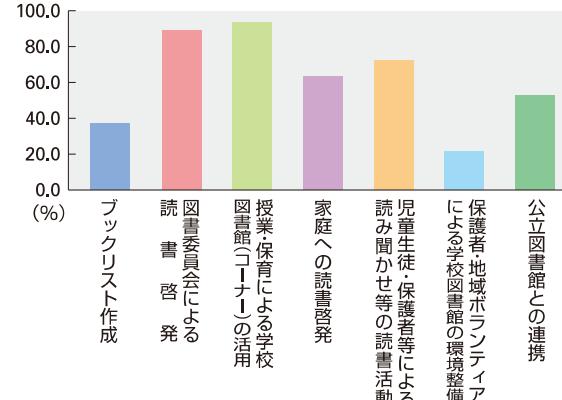


②ふだん家で本を読まない児童・生徒の割合について

校種	割合	参考
小学校	9.9%	平成24年度全国学力・学習状況調査(24年4月実施) (小6)全国 22.5%、徳島県 22.4%
中学校	25.9%	平成24年度全国学力・学習状況調査(24年4月実施) (中3)全国 36.8%、徳島県 40.1%
高等学校	46.8%	平成23年度生徒の意識調査(徳島県)(23年7月実施) (高2)52.7%

③学校・園で行っている取組について

学校・園の取組の実施割合(全ての校種)



“ありがとう”を伝えたい『私からの手紙』

入賞者

“ありがとう”的気持ちや人権尊重の思いが伝わる短い手紙やメッセージ作品を募集しました。
幼稚園児から大人の方までたくさんのご応募をいただきありがとうございました。

応募総数
5,064点



知事賞 5作品

氏名(所属)※敬称略	作品の題名
湯浅亮一郎(鳴門教育大学附属幼稚園)	いつもかいてよかった
東 陽向(沖洲小学校)	お星さまになったままへ
大溝 敏己(北島北小学校)	おじいちゃんとランドセルへ
中尾星哉(阿波中学校)	お母さんの手帳
板東真里(徳島北高校)	小学6年生の花嫁修行

教育長賞 5作品

氏名(所属)※敬称略	作品の題名
馬渕莉子(徳島文理大学附属幼稚園)	パパみどりのかーんありがとう
大館陽華(三加茂中学校)	106歳のひいおばあちゃんへ
土井鞠介(徳島北高校)	my mother, 感謝しています!!
原田愛子(阿南支援学校)	川上さんへ
今井芳枝	ゆうちゃんへ

徳島新聞社賞 3作品

氏名(所属)※敬称略	作品の題名
片山奈々(沖洲小学校)	おじいちゃんの野菜
M.H(川島高校)	生まれてきてくれて ありがとう
A.O	光

お問い合わせ 徳島県教育委員会 人権教育課 TEL.088-621-3155

表彰式



平成24年11月25日(日)、県教育会館で開催された「ヒューマンフェスタとくしま2012」において、表彰式を行いました。

作品展示



徳島県教育委員会では、「ありがとう」を伝えたい『私からの手紙』作品パネルをはじめ、各種人権教育・啓発パネルの貸出を行っています。学校・地域等での展示及び資料としてご活用ください。

「とくしま特別支援学校技能検定」開催!

主催：すだちサポート会議
徳島県教育委員会

ビルメンテナンス
(テーブル拭き)ビルメンテナンス
(自在ほうき)

接客(喫茶サービス)



<記念バッジ>

<製作協力>
徳島県立博物館

本県では、平成24年度から、特別支援学校の生徒の就労を支援するため、「とくしま・すだちサポート事業」を実施し、ビルメンテナンス、接客、介護、ICTの4つの分野について、特別支援学校版の技能検定を開発しています。今年度は、12月25日(火)にビルメンテナンス部門(テーブル拭き・自在ほうき)、12月27日(木)には接客部門(喫茶サービス)について、技能検定を実施しました。

県内の特別支援学校からビルメンテナンス部門では51名、接客部門では14名の生徒が受検し、全員が1級から10級までの級に認定され、一人一人に認定証が授与されました。



食育の推進

プロスポーツチーム
推薦

「野菜たっぷりメニュー」のレシピ集を発行します!

推奨メニューを
発表する
徳島ヴォルティス
新田社長



推奨メニューを試作する
徳島インディゴソックス
坂口代表

学校給食 アイデア料理 コンテスト開催!



最優秀賞

阿波尾鶏の塩麹づけ炙り焼き
鳴門金時のさみ揚げ

今回紹介するのは、高校生が発案した「徳島ならでは」の新鮮でおいしい食材を活用した学校給食の献立の中から、12月16日(日)に開催された学校給食アイデア料理コンテストの最優秀作品です。

阿波尾鶏の塩麹づけ炙り焼きはとても簡単です。塩麹はとても便利なので、家でもよく使います。フライパンで焦げ目をつけて、グリルで2度焼きするので、香ばしくとても美味しいです。

鳴門金時はさみ揚げは、火が通りやすい厚さに切って、ホクホク感が出るよう仕上げ、照り焼きソースをかけます。



腕をふるう高校生

徳島県立城北高等学校
1年 新居 ほのかさん
1年 鉄岡 佳奈さん

詳しいレシピは、他の入賞作品と一緒に「学校給食アイデア料理コンテストレシピ集」に掲載し、県内の各公立学校に配付するとともに県ホームページでも紹介します。

地域の絆ですすめる

防災生涯学習キャンププロジェクト

南海トラフの巨大地震をはじめとした、あらゆる災害に備え、学校・家庭・地域の連携を図り、地域の絆のもと学校防災教育と地域防災をつなげる取組、そして、いつでも、どこでも、生涯にわたって防災について学ぶ、学べる防災生涯学習環境の充実が求められています。

こうした中、文部科学省の委託を受け、児童・生徒・子育て世代の保護者の各地域において想定される災害や被災時の対応等に対する理解や、学校等を避難所とした生活体験などの地域と連携した防災教育プログラムを内容とする防災キャンプを実施しました。

県内において災害想定を考える際に、地域によって災害そのものや災害による被災の状況が異なることから、山地型・臨海型・都市型に分け、山地型として三好市立西祖谷中学校、県立池田支援学校、臨海型として美波町立由岐小学校、県立阿南支援学校ひわさ分校、そして都市型として徳島市内中心部に位置する子育てひろば「子育てはっとスペースすきっぷ」(子育て世代の保護者が利用する)の5か所において防災キャンプを展開しました。



排水トンネル見学「西祖谷中学校」

各防災キャンプでは、最初に、南海トラフ地震による津波発生や家屋内の家具倒壊などを想定した避難訓練を行い、その後、避難所となる体育館等に移動し、備蓄・支援物資の受け入れ、段ボールなどを使った間仕切りやパーソナルスペースの確保といった一連の避難シミュレーションを行いました。また、起震車や土石流3Dシアター等の体験や、地域の土砂災害対策施設である「排水トンネル」の見学等を行い、災害の脅威を体感とともに、災害対策の理解を深めました。

中学校・支援学校では、それなりに加え、日本赤十字社指導員・消防署員の方から災害時の救急救護法について学びました。子育てひろばでは、「おもちゃを使った遊び」の講義とワークショップを通して、被災乳幼児・児童やその保護者の心のケアについて、防災キャンプ参加者で考えました。

炊き出し訓練は地域の婦人会、社会福祉施設、自主防災組織、社会福祉協議会の方々の協力を得、小中学生も炊き出しの補助を行いました。子育てひろばでは、保存食を活用した、食物アレルギー・アトピー性皮膚炎の子どもたちが食べられる非常食を考え、各種の非常食をつくりました。

反省会活動
「阿南支援学校ひわさ分校」

避難シミュレーション「子育てひろば」



婦人会による炊き出し「池田支援学校」

夜間の避難所体験では、自主防災組織の方々と避難所となる体育館で寝泊まりを体験しました。夜間での発災に備え、西祖谷中学校・池田支援学校では夜間移動訓練も行いました。

平成25年1月19日に、とくぎんトモニプラザにおいて「防災キャンプ活動報告会」を開催し、5か所の防災キャンプ関係者によるパネルディスカッションを行いました。子どもたちが寝泊まりを含む様々な体験活動を通して、防災に対する心構えや防災の技術を身につけ、少し自信を付けた様子や、地域の方々との連携した取組によって地域の方々をよく知るきっかけとなつたことなどが報告されました。また、地域と連携した防災キャンプの取組の中で見えてきた新たな課題、より

多くの地域住民と同様の取組をする際の留意点など、次のステップに向けての課題も出されました。地域と連携した防災教育を推進する上で、こうした課題を見つけ、次のステップに進むことが大切であることを改めて認識しました。



避難所体験「由岐小学校」



地域の絆ですすめる
防災生涯学習
キャンププロジェクト

(県内5箇所で防災キャンプ実施)



世界遺産登録を目指して 四国遍路の国史跡指定

●「四国遍路」を後世に

「四国遍路」は古来から受け継がれてきた巡礼道であり、巡礼の姿です。

徳島県では、「四国八十八箇所靈場と遍路道」の世界遺産登録を目指して、平成21年度より勝浦郡勝浦町の第20番札所鶴林寺から阿南市加茂町の第21番札所太龍寺をつなぐ遍路道、また札所寺院の文化財調査を実施し、国史跡指定に向けた取り組みを進めてきました。

鶴林寺と太龍寺をつなぐ遍路道は、古道の景観をよく残すとともに、遍路文化を色濃く伝える石造物が当時のままで残されているなど、巡礼の遺産として極めて貴重であると高い評価を受け、平成22年8月5日には「阿波遍路道 鶴林寺道 太龍寺道 いわや道」として約4.5kmが国史跡に指定されました。また平成24年11月には、「いわや道」の延長部と第22番札所平等寺をつなぐ「平等寺道」の一部、2.75kmの区間にについて国史跡として追加指定が答申されました。

●太龍寺の魅力

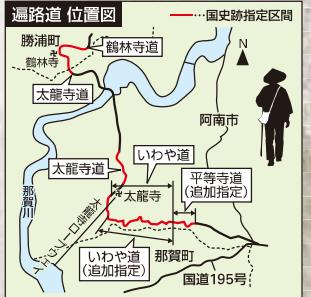
国史跡指定に向けた取り組みでは、遍路道のはか札所寺院の史跡指定も視野に入れ文化財調査を実施しています。平成21年度に総合調査を実施した第21番札所太龍寺は、弘法大師（空海）が「虛空藏求聞持法」を体得するために修行をした場として「三教指帰」等にも記されているなど、真言宗にとって古来よりきわめて重要な地とされてきた空間です。

以後、太龍寺は弘法大師信仰に基づいて発展してきた寺院として、中世から近世にかけては民衆への弘法大師信仰の普及により弘法大師にまつわる地を巡る「四国遍路」が誕生していく中で中心的な役割を果たしてきたと考えられています。つまり太龍寺は、四国八十八箇所の寺院のうち最も重要な位置を占めている寺院のひとつと言えます。

民衆による遍路の姿は、遍路道や札所寺院に残された石造物などによって知ることができます。太龍寺をつなぐ遍路道は「太龍寺道」「いわや道」のほか日参詣道の「かも道」があり、道標や寺院までの距離を示した丁石のほか、行き倒れになつた遍路の墓など遍路にまつわる数多くの石造物が残されています。また、太龍寺境内には江戸時代、遍路のために建てられた無料宿泊所の「通夜堂」があり、遍路の世話をした「通夜堂守」という役割の人を寺が抱えていたことなどから、遍路に対して手厚い待遇がされていたことが分かってきました。

●太龍寺の建造物

太龍寺境内地には寺院を構成する多くの建物が配置されています。その中で、本堂・大師堂・御影堂（御廟）・護摩堂・多宝塔・六角経蔵・本坊・仁王門・鐘楼門は、それぞれ「国土の歴史的景観に寄与しているもの」という基準から平成24年12月14日に国の登録有形文化財（建造物）として答申されました。の中でも、嘉永5年（1852）に建てられた本堂は、外觀をきらびやかに装飾する一方、内觀は簡素に仕上げる幕末頃に京都で流行した様式を、ほぼ時間差なく見られることや、京都から職人を招いて建てられた伝聞などから、当時の太龍寺と都との結びつきが明らかになりました。また、大師堂と御影堂には、本来の大師堂を、弘法大師をお祀りする御影堂と拝顕する大師堂の二つの建物に分けて建てた高野山奥院の形式が取り入れられており、「西の高野」と呼ばれるように、その併まいは八十八箇所靈場の中での寺格の高さを醸しだしています。



いわや道と道標



太龍寺 本堂



太龍寺 大師堂

開催月	開催期間	行事名称	申込	費用	定員	開催場所	備考
3月	2日(土)	こども鑑賞クラブ「人らしきものたち」の巻	◆	☆	70	近代美術館	保護者は要観覧料
	2日(土)	フジコントリー「魔羅型ドヘーヘーわんぱく冒険王・怪鳥ルーティーと魔法のタマゴ~Part1	◆	☆	20	牟岐少年自然の家	3/3まで 参加料 中学生以上5,500円 小学生まで4,500円
	3日(日)	親子で楽しむ映画会		☆	—	総合教育センター	上級「田舎のねがわらんど」市川町「さわのわくわくの森」市川町「上級」リカルド「ひのゆり」
	3日(日)	アーティストトーク 大久保英治	◆	☆	20	近代美術館	要観覧料
	3日(日)	室内実習「アーモナイト標本づくり」	◆	☆	60	博物館	材料費300円(大学生一般)
	9日(土)	土曜映画会「ライフーいのちをつなぐ物語ー」			112	二十世紀館	
	9日(土)	まなびの森講演会第12回「裕谷平家洛人伝説 伝説の研究とその方向性」	◆	☆	60	図書館	
	9日(土)	フジコントリー「魔羅型ドヘーヘーわんぱく冒険王・怪鳥ルーティーと魔法のタマゴ~Part2	◆	☆	70	牟岐少年自然の家	3/10まで 参加料 中学生以上5,500円 小学生まで4,500円
	10日(日)	第8回総合教育センター「あせみまつり	◆		—	総合教育センター	わくわくキッフェスティバル 生涯学習連携イベント ALTによる英語ミニジカル他(一部申し込み要)
	10日(日)	高コレ高校生のつくった展示会トーキー		☆	—	近代美術館	要観覧料
	10日(日)	古代政治のみち跡巡り	◆	☆	50	埋蔵文化財総合センター	阿波國府周辺をバスとウォーキングで巡ります。費用2,000円
	16日(土)	あせみ子ども羽衣教室	◆		30	総合教育センター	幼児～中学生対象
	16日(土)	フリースペース チャレンジとしま芸術祭2013 受賞者発表会			—	近代美術館・二十世紀館	3/17まで
	17日(日)	室内実習「落ち葉の中の生きものたち」	◆		20	博物館及び野外	3/7締切(往復はがき)
	20日(水祝)	ホールで観る親子で楽しむ映画会			300	総合教育センター	上映映画「大決戦!超ウルトラ8兄弟」
	20日(水祝)	徳島コレクションアート(芸芸員による解説)			—	近代美術館	祝日のため入場料無料
	24日(日)	歴史散歩「縄文の谷ハイキング(三加茂)」	◆		20	三好郡東みよし町	現地集合 3/14締切(往復はがき)
	24日(日)	部門展示「身近な草木で紙づくりと籠」展示解説		☆	—	博物館	
	24日(日)	文書館の逸品展「新田名主栗本家の古文書」展示解説			20	文書館	

みんなで 楽しむ 行事一覧

赤ちゃんと楽しむおはなし会

毎月第2木曜／10:30～10:50【図書館】

おはなし会

毎月第2、4日曜／14:00～14:30【図書館】

まちの保健室

毎月第2、4土曜／13:00～16:00【図書館】

おはなしと折り紙

毎月第2、4土曜／13:30～15:00【総合教育センター】

お問い合わせ先

●県立島居龍蔵記念博物館 TEL.088-668-2544

●県立近代美術館 TEL.088-668-1088

●県立文書館 TEL.088-668-3700

●県立二十世紀館 TEL.088-668-1111

●県立牟岐少年自然の家 TEL.0884-72-2811

「教育通信ふれあいひろば」の内容が県教育委員会のホームページでご覧になれます。
また、テキストファイルもありますのでご利用ください。

URL→<http://www.kyouikusoumu.tokushima-ed.jp/iinshitu>

通報者の秘密を含め個人情報は保護されます

封書 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地「徳島県教育委員会コンプライアンス推進室(公益通報)」宛

メール compliancesuishinshitsu@mt.tokushima-ed.jp (徳島県教育委員会ホームページからも通報できます。)

※市町村立小・中・高等学校の教職員については、市町村教育委員会まで
御連絡ください。

この広報誌について皆さまからのご感想をお寄せください。

E-mail→kyouikusoumuka@pref.tokushima.lg.jp

パナソニック耐震住宅工法 テクノストラクチャー の家



『奥様応援住宅』 沖洲住宅展示場に行こう!!

今すぐ家を建てたい方も 数年後に建てたい方も みんなお越しください。

建てるならやっばり…

地震・台風に強い家。

パナソニック耐震住宅工法 テクノストラクチャー

南光の家は
安全・安心こそ原点!

耐震等級「最高ランク3」*

耐風等級「最高ランク2」*

*国土交通省が認める「日本住宅性能表示制度」に於いて
指定住宅形態認証機関が行つて評定



◎06-07年度 阿南商工、阿南市
住宅販売 地域第一位
◎2009年度住宅性能評定ランクランク1位
◎2007年度ナショナルグランプリ優秀賞
第一回コンテスト 四国第一位

広告

心を満たすまいづくり。
有限会社 南光

TEL. 088-624-4588

平屋はご予約でご興味になれます。水準定期

⑤新規工事、既存工事、改修工事、